

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	機械科	募集定員 (予定)	40人
-----	---------------	----	-----	---------------	-----	--------------	-----

求める生徒像

本校は、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材(「産業スペシャリスト」)の育成に努めています。

特色として、「地域連携」や「学科間連携」、「専門性の深化」を掲げ、全ての学科において実践的で体験的な教育活動に取り組むとともに、地域から信頼される学校づくりを推進しています。

そこで、本校では、基本的生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができ、次の1～3のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- 1 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 2 部活動や校外活動等において、顕著な実績があり、入学後も粘り強く取り組める生徒
- 3 機械の分野に興味・関心があり、機械、金属加工、製図、自動制御などの学習を通して身に付けた知識や技能を生かして、工業の発展に貢献しようとする意欲をもち、将来、機械分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

特に、特色選抜においては、上記の2及び3のいずれかに当てはまる生徒を重視します。

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	農業科, 電気科, 情報技術科, 商業科, 福祉科		面接
共通選抜	20人（募集定員の50%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路希望 (4) その他 4 観点 (1) 態度 20点 (2) 表現力等 80点 ※面接については、2日目に実施する。
学力検査: 調査書	6 : 4		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜	20人（募集定員の50%）		
I 配点 1 調査書 390点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 …… 全学年の評定を4.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 得点を1.0倍にする 3 面接 100点 合計 990点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

第二次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文
第1志望とすることができる 学科・コース	農業科, 電気科, 情報技術科, 商業科, 福祉科		面接・実技・作文のうち実施するもの
共通選抜	20人（募集定員の50%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ
学力検査: 調査書	6 : 4		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜	20人（募集定員の50%）		
I 配点 1 調査書 225点 ・ 国語, 数学, 英語 …… 全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 …… 全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 100点 合計 625点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。			